

資料名	人に好かれる努力～『部長 島耕作』	出典	『とっておきの道徳授業』
主題名	誠実・責任	内容項目	1－(3)
日時		学年	1年

○ 主題設定の理由

・主題観

中学生の時期は、自我に目覚め、自主的に考え行動できるようになる一方で、深く考えずに付和雷同したり、責任転嫁したりと、自分の言動が自分や他人にどのような結果をもたらすかと深く考えることができないことも少なくない。本校は、生活・学習態度ともに比較的落ち着いてはいるものの、ほぼ全員が同一小学校からの入学ということで長い間友人関係が固定化しているため、気の合う友人以外との活動を極端に嫌がったり、わずかな友人間のトラブルが対処できなかつたりと、より良い人間関係を築くスキルに乏しい面が多々見られる。したがって、人間関係に摩擦の生じやすいこの時期に、自分の言動が及ぼす結果について深く考え、自分や周囲に対しても常に誠実であることの大切さを認識し、責任をもった言動ができるようになることは非常に重要であると考え、本主題を設定した。

・生徒の実態

本学級の生徒は、男子特有の活発な雰囲気の良いクラスである。授業中は活発に発表を行い、行事等にも熱心に取り組む面がある一方、発言力はあるが自己中心的で幼い言動をする男子生徒が目立ち、そういった生徒たちの振る舞いにクラスの雰囲気が乱れることも少なくない。事前アンケートにおいても、「クラスの改善すべきところは？」という質問に対し、多くの生徒が「人の気持ちや周りの空気を読まないで行動する人がいる」と回答した。また、周りを傷つける言動はしないものの、「相手が優しくしてくれないから自分も優しくしない」という誤った受け身の考えから、周囲とうまく関わることができない生徒も少なからずいるのも現状である。

・資料観（指導観）

本資料は、責任転嫁や自己中心的な言動によって信頼を失い、社長の地位を追われた登場人物（今野）が、主人公（島）に、その原因は「人に好かれる努力をしなかったからだ」と意見され、改心に至るまでの過程が描かれている。本時では、まず、生徒たちに身近な人達（家族・友人）との日頃のケンカを想起させ、自分と登場人物（今野）を重ねて考えさせ、自己を見つめさせたい。他人との衝突の裏に、自分の自己中心的な言動がなかったか振り返らせるだけでなく、自らの過ちを素直に認めることの大切さや、自己中心的な言動をしていなくとも、ただ受け身でいるだけでは人間関係はうまくいかず、人に好かれるためには努力が必要なのだという点にも気付かせたい。

ねらい	自分自身の言動を振り返り、人に好かれるには努力が必要だということに気付かせる。
-----	-----------------------------------------

資料準備物	・資料プリント（弘兼憲史『部長 島耕作』第12巻 コピー）①②③・ワークシート ・ホワイトボード貼付用拡大資料
-------	------------------------------------------------------------

板書計画	<p>めあて</p> <p>人に好かれるためには、どうすればいいか考えよう。</p> <p>資料『部長島耕作』で学ぶコミュニケーションスキル</p>	<p>②読み終えて、ずばり思っていることを書こう。</p> <p>・人のせいばかりする今野社長は、社長をおろされて当然。（自業自得）</p> <p>③人に好かれる努力をしていますか？</p> <p>している ○人 / していない ○人</p>
	<p>①今野社長みたいな人をどう思う？</p> <p>好き○人 ・自己中 嫌い○人 → ・周りにいたら嫌だ</p> <p>④今野社長の絵</p> <p>⑤今回学んだこと・今後に生かしたいこと</p> <p>・人のせいにする ・暴言を吐く ・自分の仕事をしない ・開き直す</p>	<p>④人に好かれる人は、どういうことに気を付けていると思う？</p> <p>・嘘をつかない ・人のせいにしらない ・笑顔</p> <p>⑤今回学んだこと・今後に生かしたいこと</p> <p>・自分の非は素直に認めることが大切。努力すれば、どんな人でも好かれるようになる。</p>

【展開】

	学習活動・内容, 生徒の反応	支援を主にした働きかけ	配時
導入	<p>1 自分と身近な人との人間関係に目を向ける。</p> <p>----- 今まで、友人や両親、兄弟などとケンカをしたことがありますか。 -----</p> <p>・ある。(ほぼ全員の生徒)</p> <p>----- 一番最近のケンカを思い出してください。自分と相手、どちらが悪かったのでしょうか。 -----</p> <p>----- 本当にそうでしょうか。 -----</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人とのケンカを取り上げることで、全員参加のきっかけにする。 ・たたみかけることで、さらに自分について深く考えさせる。 	5分
展開	<p>2 今日のめあてを知る。 (人に好かれるにはどうすればいいか考えよう。)</p> <p>3 資料①②を通して、自分を振り返る。</p> <p>----- 資料①を読んでください。 -----</p> <p>(発問1)</p> <p>----- 今野社長みたいな人をどう思いますか。 -----</p> <p>・自己中心的。 ・こんな人が周りにいたら嫌だ。</p> <p>----- 資料②を読んでください。 -----</p> <p>(発問2)</p> <p>----- 読み終えて、ずばり、思っていることを書いてください。 -----</p> <p>・人のせいばかりする今野さんはおかしい。自分のやったことを人のせいにする人はやはり嫌われると思う。 ・今野さんのようにはなりたくないと思うが、実は自分が気づいていないだけかもしれない。周りに島さんのような勇気のある人がいて、言ってくれたらいいのに。</p> <p>(発問3)</p> <p>----- あなたの周りに、今野さんみたいな人がいるかもしれませんね、あなたは今野さんみたいな人ではありませんか。自分自身を振り返ってみよう。では、あなた自身、人に好かれる努力をしていますか。 -----</p> <p>・そういえばしていない。(ほとんどの生徒)</p> <p>(発問4)</p> <p>----- 人に好かれる努力をしている人は、どんなことに気を付けていますか。また、今まで努力をしていなかった人は、人に好かれる人はどういうことに気を付けていると思いますか。 -----</p> <p>・人のせいにしない。 ・嘘をつかない。 ・笑顔。 ・まずは自分から挨拶したり優しくしたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どういうところが嫌なのか、自己中心的だと思うのか、具体的に挙げさせることで、「こういう人が嫌われる」というイメージを具体化させる。 ・書き出しに困っている生徒が多い場合は、資料②の中で、特に強く印象に残ったセリフを1つ選んでラインを引かせ、それに対して思うことを書かせる。 ・「今野さんみたいな人が学級にいませんか」という個人攻撃にならないよう配慮し、自問させる。 ・周りに、誰からも好かれている友人を思い浮かべさせ、参考にさせる。 	33分
終末	<p>4 資料③を読んで感想書き、本時のまとめをする。</p> <p>----- 資料③を読み、今回学んだことや今後に生かしたいことなど、ここまでの授業の感想を書いてください。 -----</p> <p>・自分を見つめ直すよいきっかけになった。自分の悪い所を素直に認め、改善することが何より大切だと思った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の感想を発表させたり、教師の体験談を聞かせたりしながら考えを深めさせる。 ・自己評価、感想を見て生徒の心の変化を見る。 	12分
関連	<p>学校行事(体育大会, 自然教室, 合唱コンクール)に関連している。 日常の諸活動(言葉遣い, 清掃活動, 給食準備・片づけ, 生活態度, 部活動)に関連している。</p>		

